

4 - 4 伊豆半島東方沖の群発地震と東伊豆で観測された歪変化の関連について

On the Relation between Earthquake Swarm Activity off the East of Izu Peninsula and Strain Changes Observed at Higashi-Izu

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

これまで東伊豆で観測された歪変化と伊豆半島東方沖の地震活動の関連について述べる。(第1図〔1〕～〔6〕)。

図中の震央分布図については、東海常時監視網で決定された震源によるものであり、気象庁地震月報のものと若干異なる。

歪変化図はドリフト分を除去し、気圧補正及び潮汐補正を行なった時間値を示す。また降水量は網代での観測値である。

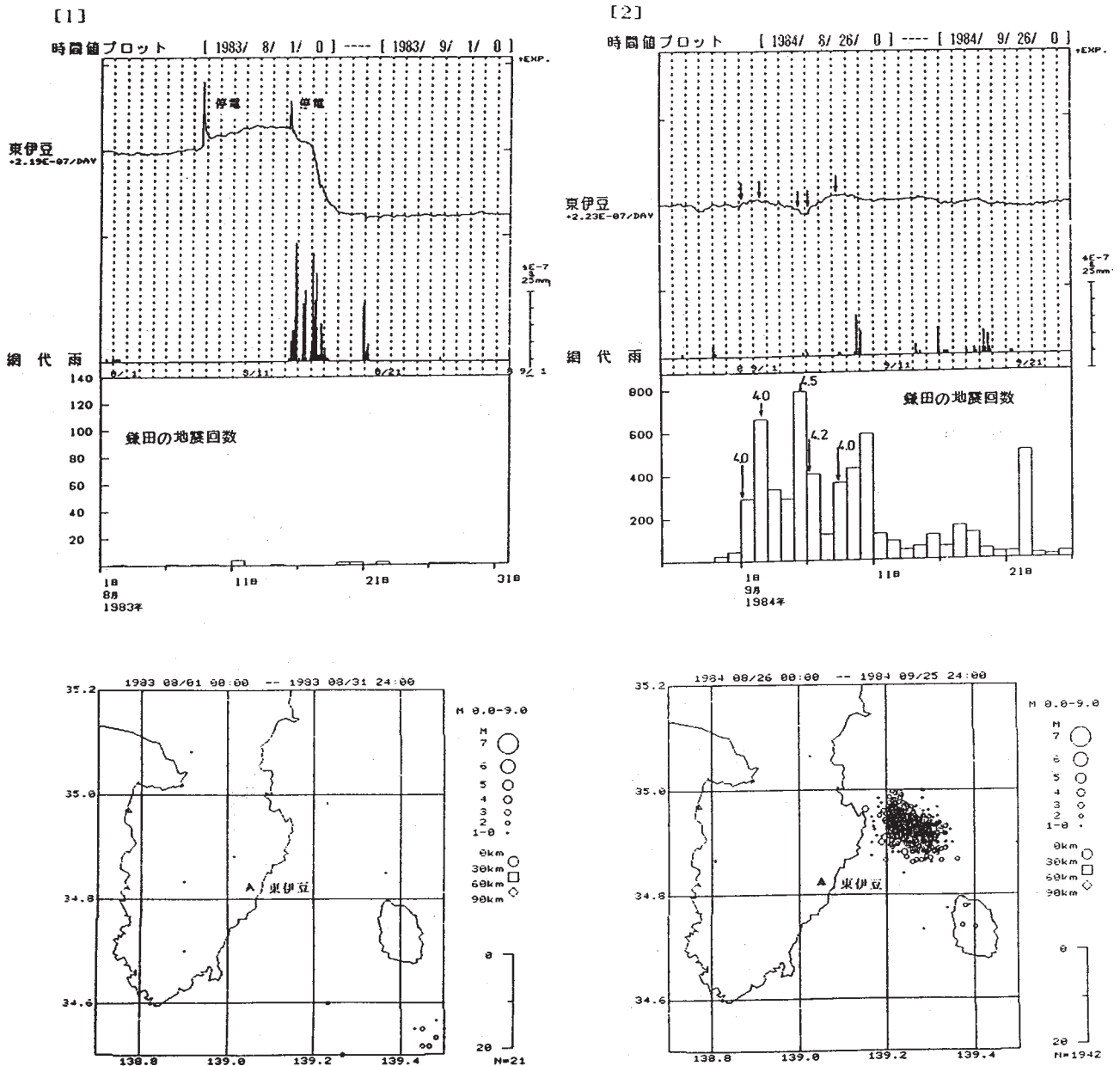
〔1〕は降水の影響による縮みの変化が現われた例である。

〔2〕及び〔3〕は地震の群発活動中の期間であるが、目立った変化がない例である。

〔4〕及び〔6〕は群発活動とほぼ同時に縮み変化が起っている例である。

〔5〕は顕著な降水、地震活動ともなかった期間に現われた伸びの変化の例である。

〔4〕,〔6〕とも歪変化の開始の頃に雨が降っており、変化傾向としては降水の影響によるものと一致しているが、この2例では通常の場合と比べて変化量が特に大きく、むしろ群発地震の活動経過とよく対応しているようにみえる点が注目される。



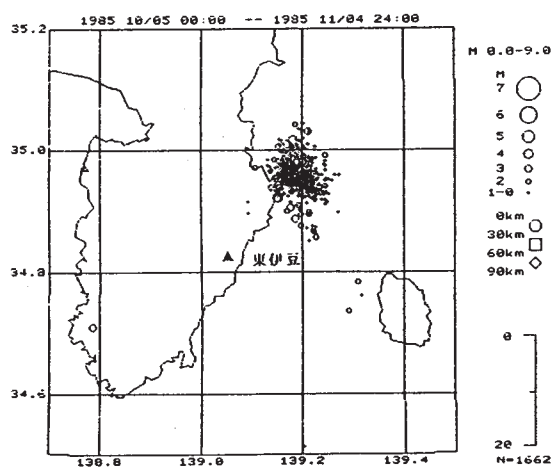
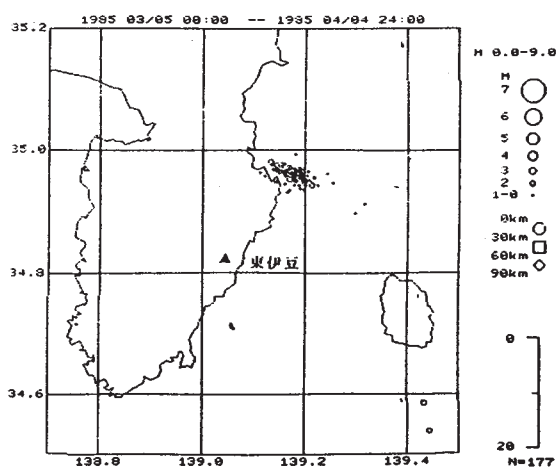
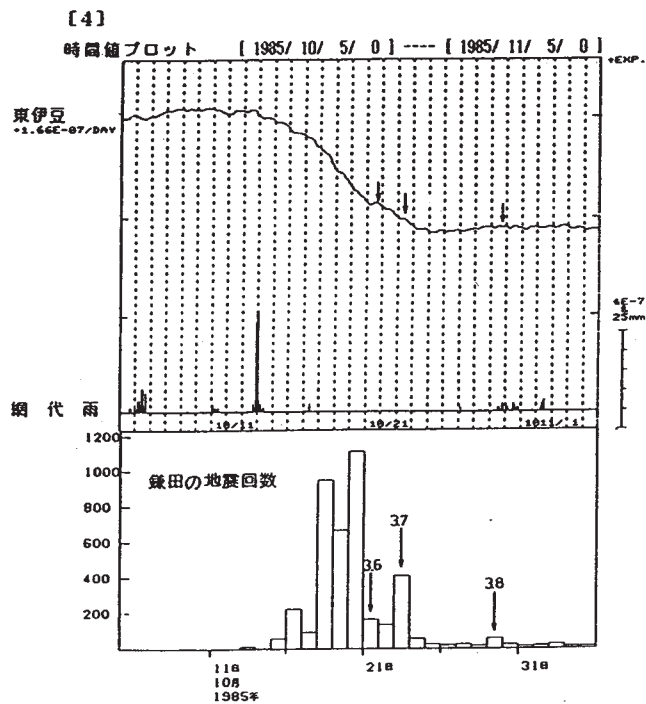
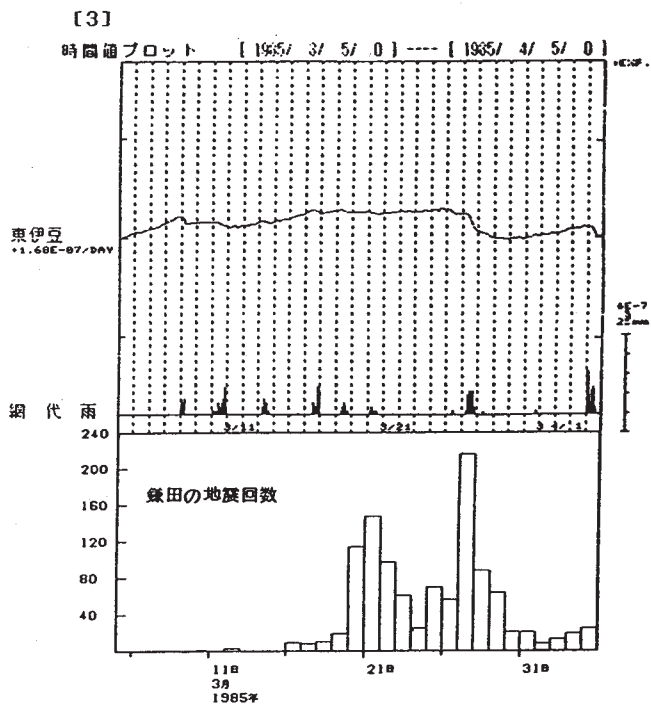
第1図 東伊豆の歪変化と伊豆半島東方沖の地震活動

東伊豆の歪変化，網代の降水量（ともに時間値）と鎌田の地震回数（日別）。図中の数字は主な地震のマグニチュードを表わす。東伊豆の歪変化については，図に数値で示した値（正が伸びに対応）の直線トレンドが除いてある。P.F. は停電を表わす。図中下段は伊豆半島東方沖の地震活動の震央分布を示す。

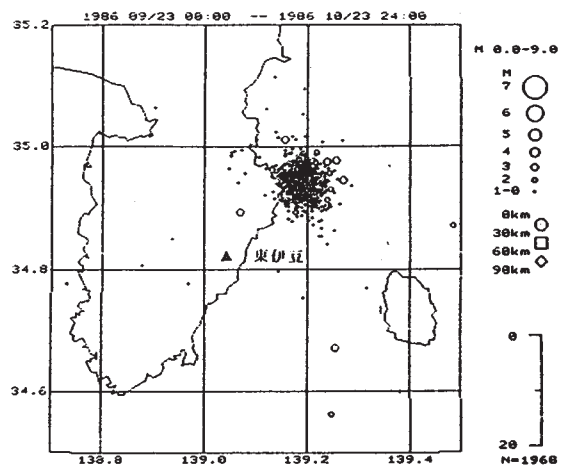
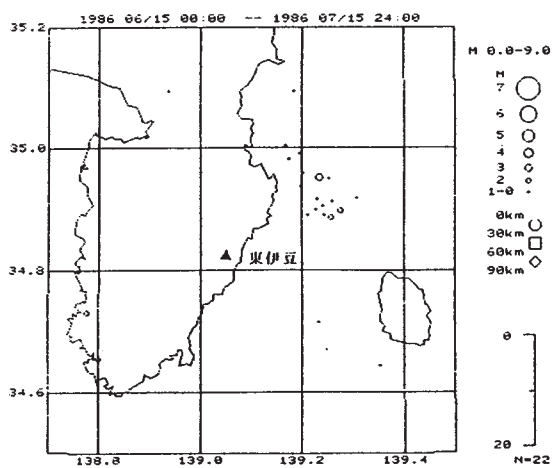
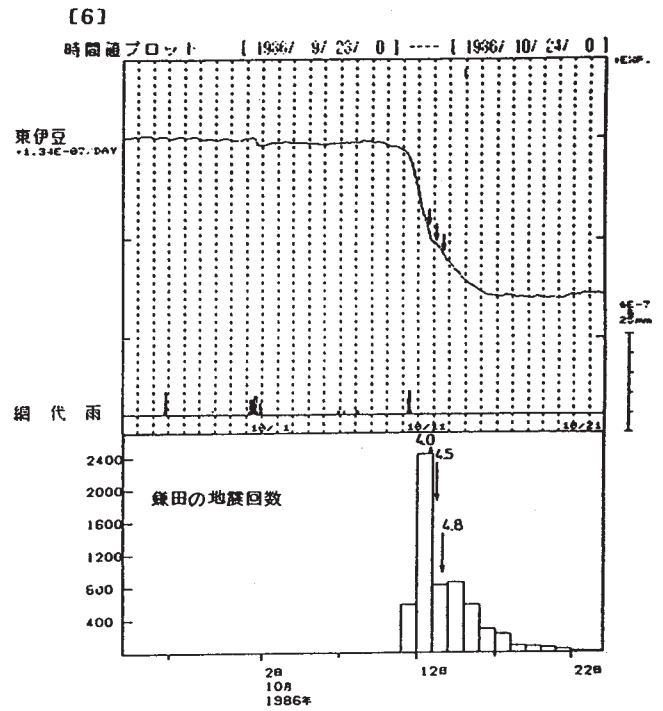
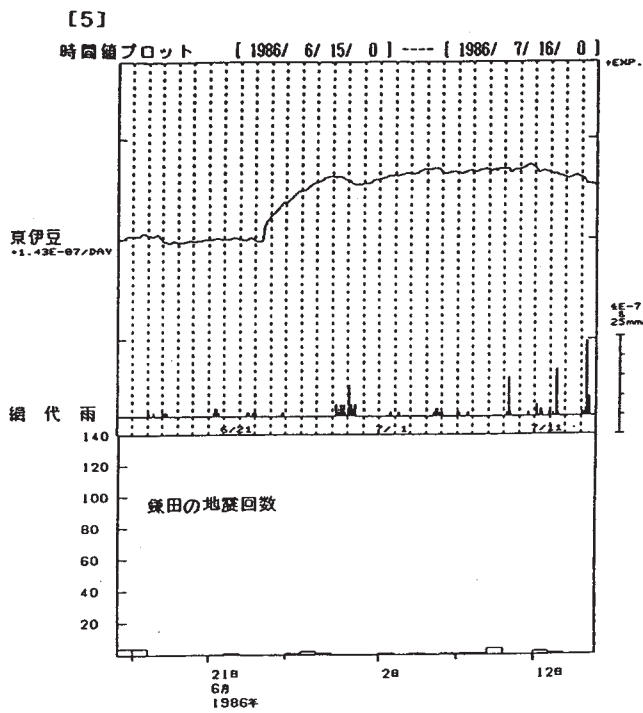
Fig. 1 Strain changes at Higashiizu and Earthquake activity off the east of Izu peninsula.

The upper part shows hourly strain changes at Higashiizu, hourly precipitation at Ajiro, and daily number of earthquake observed at Kamata. Numeric with arrow shows the magnitude of principal earthquake. Linear trend showed by numeric (positive corresponds to expansion) is eliminated from strain change at Higashi-Izu. P.F. means power failure.

The lower part shows epicenter map off the east of Izu peninsula.



第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)



第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)